

製品名: EphA3/4/5 (リン酸化 Tyr779/833) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04613**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 110kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | EPHA3/EPHA4/EPHA5 EPHA3; ETK; ETK1; HEK; TYRO4; Ephrin type-A receptor 3; EPH-like kinase 4; EK4; hEK4; HEK; |
| 別名 | Human embryo kinase; Tyrosine-protein kinase TYRO4; Tyrosine-protein kinase receptor ETK1; Eph-like tyrosine kinase 1; EPHA4; HEK8; SEK; TYRO1; Ephri |
| 遺伝子 ID | 2042/2043 |
| SwissProt ID | P29320/P54764/P54756 |
| 免疫原 | 抗血清は、ヒト EPHA3/4/5 由来の合成ペプチドの Tyr779/833 のリン酸化部位付近に対して作製された。アミノ酸範囲: 746-795 |

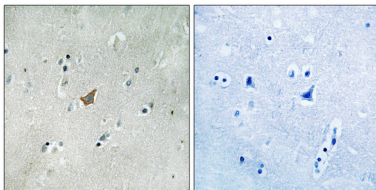
背景

この遺伝子は、タンパク質チロシナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。EPH および EPH 関連受容体は、特に神経系において、発達過程の媒介に関与していることが示唆されています。EPH サブファミリーの受容体は、典型的には単一のキナーゼドメインと、システインリッチドメインおよび2つのフィブロネクチンタイプ III リピートを含む細胞外領域を有します。エフリン受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて、2つのグループに分類されます。この遺伝子は、エフリン A リガンドに結合するタンパク質をコードします。この遺伝子には、2つの選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシリン酸。、疾患: EPHA3 の欠陥は結腸直腸癌 (CRC) の原因となる可能性がある [MIM:114500]。機能: エフリン A ファミリーのメンバーの受容体。エフリン A2、-A3、-A4、および-A5 に結合します。リンパ機能において役割を果たす可能性があります。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。、類似性: SAM (無菌 α モチーフ) ドメインを 1 つ含む。、類似性: フィブロネクチン III 型ドメインを 2 つ含む。、組織特異性: 広く発現している。胎盤で最も多く発現する。、

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



EPHA3/4/5 (リン酸化チロシン 779/833) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。